

## 第 513 回 例 会

24年8月31日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 クラブフォーラム  
社会奉仕委員会 玉置 栄一 委員長  
親睦活動委員会 小山田光正 委員長  
会員増強委員会 森本 良嗣 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

## 次回(9月7日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 菊 泰仁 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」
- ・ガバナー補佐&ガバナー補佐エレクト訪問  
第1回クラブ協議会 13:40～ 3階「万葉 東の間」

## 9月の例会予定

- ◎7日 卓話 菊会員 /ガバナー補佐訪問
- ◎21日 ガバナー公式訪問
- ◎14日 クラブフォーラム(新世代奉仕/職業奉仕)
- ◎28日 USJ例会(夜例会)

## 先週(8月24日)の例会報告

## ■会長の時間

## 【鳴くまで待とうほととぎす】

封建日本を完成させた徳川家康かいったことばだといわれている。

武家社会を安定させたのは、なるほど家康であり、最後の勝利者といえるだろう。が、家康とて信長、秀吉というふたりの先人の地ならしがなければ、あれほど見事に「江戸時代」の基礎を築けなかったのではあるまいか。江戸の狂歌師は、三人について、実に巧みにそれぞれの役割を歌っている。

「織田がつき、羽柴(秀吉)がこねし天下餅、うまうまとひとり食うは徳川」

群雄割拠の混乱のなかから、まず信長がひとり抜け出して、京都に進出、まがりなりにも天下を統一する緒につく。が、光秀に暗殺される。そのあとを信長の部将であった秀吉が引き継ぎ全国統一を完成するが、天下は長く続かず病死する。と、機会をじっと待っていた家康が巧みな戦術や強大な武力、人心収攬術によって、対立する諸大名を抑え、豊臣家を滅ぼして、江戸幕府を開き、徳川三百年の礎とするのである。

三人の武将の天下を統一していくまでの過程をみていると、それぞれの性格がよくあらわれていて興味深い。

ほととぎすは、カッコウ属の鳥で、夏鳥として日本に渡ってくる。カッコウ属の鳥は、いずれも声に特徴があり、まったく異なっているが、ほととぎすの鳴き声もかわっていて面白い。

「テッペンカケタカ」「トッキョキョカキョク」(特許許可局)

と聞こえ、かん高く、早口に鳴く。朝はまだ未明のころから鳴きはじめ、夜になってもさかんに鳴きつづける鳥である。

それはさておき、三人の武将の性格を実にうまく表現しているのが、それぞれの「ほととぎす」に対する態度である。本人がほんとうにいったかどうかは別にして、なるほどと思わせるものがある。

『鳴かぬなら殺してしまえほととぎす』

これが信長。信長は若いころ尾張の大うつけなどといわれていたが、どうして、理性的で合理精神の持ち主で、軍事的な天才であるといつてよい、そうした一面が、このことは、態度によく出ている。

『鳴かぬなら鳴かしてみようほととぎす』

これが秀吉。まことにすごいばかりの自信である。細心でありながら、こだわらない、人の評価など気にしない明るい性格がびたりあらわれている。自己顕示欲が強いのである。外向的といえよう。

『鳴かぬなら鳴くまで待とうほととぎす』

これが家康。どんな逆境にもじっと耐え、適応していく忍耐強さ、精神の強韌さがひしひしと伝わってくるようである。ずるさという人もいないかもしれない。

## 【来客紹介】 1名

## 【出席報告】

24年8月24日(第512回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
29名	2名	21名	6名	77.78%

## 【幹事報告】

[メールBOXに配布]

- 1) 第2回理事会報告
- 2) ガバナー補佐訪問「第1回クラブ協議会」へのご出席のお願い

〔回覧資料〕

- 1) 九州大雨災害義援金募金箱を回します。ご協力よろしくお願いします。
- 2) 米山梅吉記念館 館報(2012秋)

ニコニコ箱(8月24日)

東 健三 =今日は国際交流、お知り合いの金さんがクラブの見学に来られました。皆さんひとつよろしくネ。

川上 大雄 =卓話当番。よろしくお願いします。

河田 英子 =ちょっと嬉しいことがありました。21日に大阪府の監査がありました。盆休みも返上して2年分の書類をキチンと整理整頓してがんばりました。たくさん褒めて頂き、学園経営も来年度の生徒募集にむかって努力したいです。お知り合いがあれば守口幼稚園へどうぞ！！

久保田秀一 =昨日、高橋様の面談に吉田さんと行ってきました。

森本 良嗣 =12:20現在、出席者13名。少ないですネ。

大輪有加子 =ちょっと嬉しいことがありました。

豊島 秀郎 =香川がマンU でがんばっています。

和氣 勝海 =残暑に負けずにガンバリましょう！

カモネギ有志一同 =ちょっと嬉しいことがありました。

8/19に阪奈カントリークラブでカモネギを行いました。入会候補の高橋さんも含め楽しい一日を過ごしました。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 12250円	今年度合計 2791611円
---------	-------	------------	----------------

卓話(8月24日)

「ゴルフ四方山話」 川上 大雄 会員

ゴルフの起源

ゴルフゲームの起源については オランダ、イギリス、フランス、イタリア、中国など 様々な説があるが 定説はない。ゴルフ(ホッケーのようにも見える)をしていたのではないかと 思われるような 古い絵画が ヨーロッパの各地にある。歴史家の中には 古代ローマ帝国時代に 先の曲がったスティックで 羽毛を皮で包んだボールを打って遊んだ paganica と呼ばれたゲームが ゴルフの起源で、それが ローマ帝国の勢力拡大と共に(紀元前に) ヨーロッパの各地に広がったと言う人も居り、それによれば ゴルフの起源は 紀元前まで遡ることになる。また、中国では 8世紀から 12世紀に「捶丸(ツイワン)と呼ばれる球技が行われており、これがゴルフの原型に当たるという説もある。さらに、12世紀に 現在のセントアンドリュース・オールドコースのあった所(スコットランド)では、石を 野ウサギの巣穴に入れて遊んでいたそうで、それがゴルフの原型だという説まである。

しかし、現在のゴルフゲームに近い形態のゲームは オランダが発祥地で それがスコットランドに 後日渡り 多くの人によってプレーされるようになり、それが ゴルフの起源であるとする説が もっともらしいようだ。

当初 オランダで 1300年代に行われていた時には 各ホールの距離が 1000ヤードもある 4ホールのコースで プレーをしていたという記録があるが、当時は 羽毛を中に詰めた皮製のボールを使ってプレーをしていたそうで、そのゲームが spel metten kolve (または kolven) と呼ばれており、その後、それが kolf と呼ばれるようになったと言う。そして、さらに そのゲームが スコットランドに渡って golfe/golf と呼ばれるようになった という説である。

クラブの語源

クラブハウスのクラブとゴルフクラブのクラブclubは語源が同じ。そして、新地のクラブも、トランプのクラブも。「太い棒」から「棒の集まり」そして「集団、グループ」へと意味が変遷。イギリスでは16世紀の「フライデー通り」が最初の近代的クラブとされているが、クラブという組織形態が普及したのは17世紀後半になってからである。当時、喫茶店と社交場の機能を兼ね持つコーヒー・ハウスがロンドンを中心に増加していたが、コーヒー・ハウスで交流していた客のうち、共通の趣味・話題を持つ者同士でコーヒー・ハウスの一室を借りて定期的に集会を開く人々が現れた。これがクラブの起こりである。

お知らせニュース その1

8月29日 芦屋カントリー倶楽部において 芦屋市教育委員会主催の市民ゴルフ大会にわれらみちみちミッチーが登場=プレー後の成績発表までの間、クラブハウスにて参加者にいつもの楽しいマジックを披露した。

尚、大会には当会名誉会員の安藤氏らが参加した。

(写真:上段 情報提供:吉田さん)

新西宮ヨットハーバーに停泊したヨットから芦屋浜で上がる花火を鑑賞しました。  
海風に吹かれながら見る花火もいいものですよ。

(写真:下段 情報提供:福島さん)



**大阪ユニバーサルシティRC** URL:<http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai:[ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立:2001年3月27日  
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL:070-5020-6459  
会長:斎藤清貴 幹事:三宅一郎 会報担当:大橋高志 例会:毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか